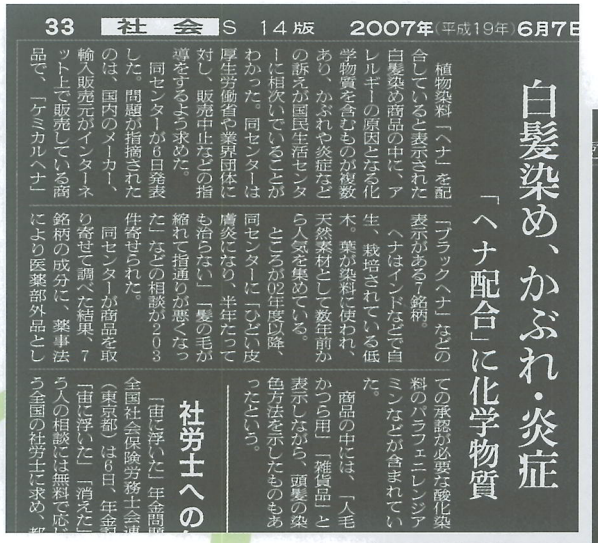
そのヘナ、本当に大丈夫？



33 社会 S 14版 2007年(平成19年)6月7日

白髪染め、かぶれ・炎症
「ヘナ配合」に化学物質

植物染料「ヘナ」を配合しているとされた白髪染め商品の中に、アレルギーの原因となる化学物質を含むものが複数あり、かぶれや炎症などの訴えが国民生活センターに相次いでいることがわかった。同センターは厚生労働省や業界団体に対し、販売中止などの指導をするよう求めた。

同センターが6日発表した。問題が指摘されたのは、国内のメーカー、輸入販売元がインターネット上で販売している商品で、「ケミカルヘナ」「ブラックヘナ」などの表示がある7銘柄。

ヘナはインドなどで自生、栽培されている低木。葉が染料に使われ、天然素材として数年前から人気を集めている。

ところが02年度以降、同センターに「ひどい皮膚炎になり、半年たっても治らない」「髪の毛が縮れて指通りが悪くなった」などの相談が203件寄せられた。

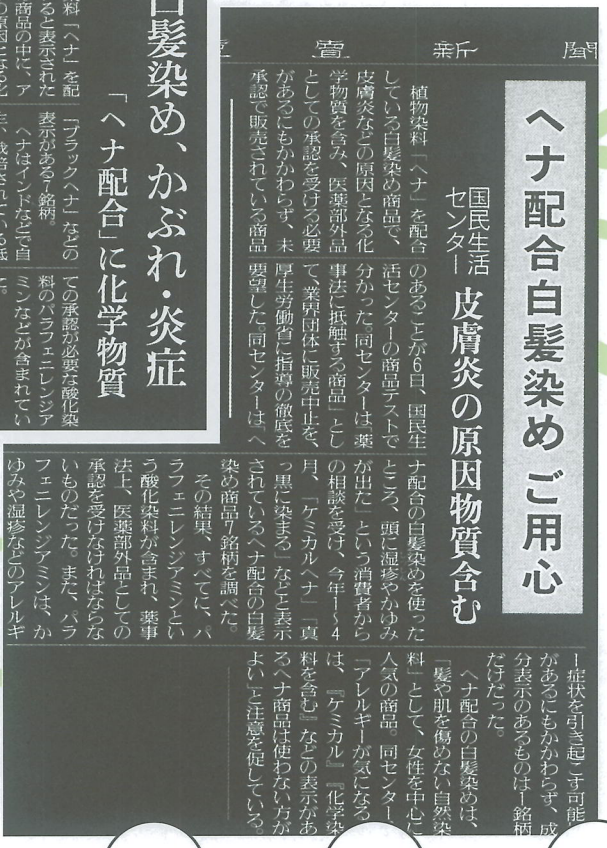
同センターが商品を取り寄せて調べた結果、7銘柄の成分に、薬事法により医薬部外品としての承認が必要な酸化染料のパラフェニレンジアミンなどが含まれていた。

商品の中には、「人毛かつら用」「雑貨品」と表示しながら、頭髪の染色方法を示したものもあったという。

社労士への

「宙に浮いた」年金問題

全国社会保険労務士会連(東京都)は6日、年金「宙に浮いた」「消えた」う人の相談には無料で応じう全国の社労士に求め、都



ヘナ配合白髪染めご用心
国民生活センター 皮膚炎の原因物質含む

植物染料「ヘナ」を配合している白髪染め商品で、皮膚炎などの原因となる化学物質を含み、医薬部外品としての承認を受ける必要があるにもかかわらず、未承認で販売されている商品が多数あることが6日、国民生活センターの商品テストで分かった。同センターは「薬事法に抵触する商品」として業界団体に販売中止を、厚生労働省に指導の徹底を要望した。同センターはヘナ配合の白髪染めを使ったところ、頭に湿疹やかゆみが出た」という消費者からの相談を受け、今年1～4月、「ケミカルヘナ」「真っ黒に染まる」などと表示されているヘナ配合の白髪染め商品7銘柄を調べた。

その結果、すべてに、パラフェニレンジアミンという酸化染料が含まれ、薬事法上、医薬部外品としての承認を受けなければならないものだった。また、パラフェニレンジアミンは、かゆみや湿疹などのアレルギー症状を引き起こす可能性があるにもかかわらず、成分表示のあるものは1銘柄だけだった。

ヘナ配合の白髪染めは、「髪や肌を傷めない自然染料」として、女性を中心に人気の商品。同センターは、「アレルギーが気になる方は、『ケミカル』『化学染料を含む』などの表示があるヘナ商品は使わない方がよい」と注意を促している。

h e n n a

平成19年6月7日に朝日、読売両新聞に大きな記事が掲載されました。タイトルは『白髪染め、かぶれ・炎症「ヘナ配合」に化学物質』、『ヘナ配合白髪染めご用心　皮膚炎の原因物質含む』。これは、国民生活センターの調査に基づいて、業界にはヘナの取扱いの自粛、官庁には監視・指導の徹底を求めたものです。

もういちど聞きます『そのヘナ、本当に大丈夫ですか？』

ヘナと同じタイプの白髪染めで、“医薬部外品”があったら、どうしますか？　しかも日本製！

私たちが扱っている『香草カラー』聞いたことありませんか？　『香草カラー』は、化学染料等と天然、もしくは天然由来成分を配合したパウダー染毛剤(厚生労働省認可医薬部外品)です。

つまり、従来のアルカリカラー並の施術で

- ヘナと同等のハリ・コシがでる
- ヘナよりも自然のツヤにすぐれている
- しかも、コスト安で明るく染められる

現に、ヘナをやられていて、『香草カラー』に替えたサロンの実に90％以上のお客様が『香草カラー』のリピーターとなりました。

あなたも『香草カラー』考えてみませんか？今なら、間に合います。

■ ケミカルヘナにできて、香草カラーにできないことありません

■ 香草カラーにできて、ヘナにできないこと

1. パーマのかかりへ影響しません
2. カラーチェンジがアルカリカラーと同じように可能です
3. トーンアップできるタイプもあります
4. いつでも同じ色で染められます

fig1. ヘナ vs 香草カラー(ヘナと香草カラーの比較)